

携帯電話リサイクル収益の寄付について

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:津田志郎)は、ボーダフォンショップなどで回収した携帯電話をリサイクルする際に発生する収益を、2005年4月1日(金)より1年間、財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)に寄付することを決定しました。

ボーダフォンでは、携帯電話のリサイクル活動を通じ、処分される廃棄物の量を減らすことで環境への影響を軽減させるほか、資源の有効活用に寄与してきました。また、2002年度よりリサイクルによって発生した収益を寄付しております。2002年度は総額2000万円、2003年度は総額1840万円を寄付いたしました。

今回寄付先としてWWFジャパンを選定したのは、本年1月に実施した携帯電話利用者向けアンケートの結果、リサイクル収益の環境対策への使用を望む回答が全体の68%と最も多かったことが主な理由です。

全国のボーダフォンショップでは、お客さまの不要になった携帯電話に登録してあるデータをお客さま自身で消去していただいたうえで、携帯電話本体、電池パックや充電器などの付属品を回収しています。ボーダフォンでは、それら全てをリサイクルすることで発生した収益を、全額WWFジャパンに寄付する活動を通じて、日本の環境保全の実現を推進してまいります。

以上

- Vodafone およびスピーチマークデバイスは、Vodafone Group Plc の登録商標または商標です。
- ボーダフォングループは、世界26か国で約4億1640万人以上の加入者(2004年12月末現在、出資全子会社の合計加入者数)を持ち、さらに14か国の事業者と提携して世界をリードする携帯電話会社です。